

ひだまり

ISO9001:2015 認証機関

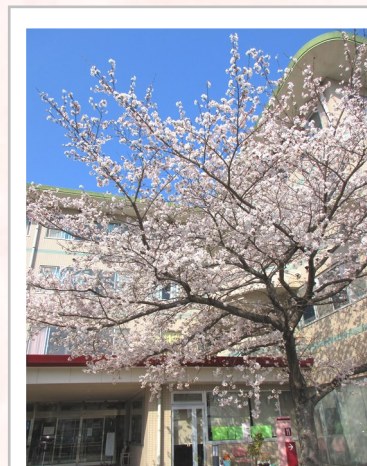


日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙
第129号
2025年5月発行
発行責任者 藤田文博



春のひととき 満開の桜でお花見



玄関前の桜も満開です



4月7日の午後、デイケアは病院の中庭でお花見をしました。ここ数年は時期が早かったり遅かったりと、桜とのタイミングが合わなかったのですが、今年はバッチリと予想は的中。見事に咲いた満開の桜の下でのお花見となりました。

うらかな日差しの中庭に出ると「わー」「きれい」など、口々に感動する声。桜の他にも花桃の木、色とりどりのチューリップ、菜の花などの花が咲き誇り、春の雰囲気を感じました。写真を撮るのが趣味だった利用者さんにカメラをお渡しすると、構図を考えながら桜の風景をカメラに収めてくださいました。いつもは物静かな方ですが、カメラを持つと活き活きとされ、全国各地を撮影にまわっていた当時の様子が目に浮かびました。「花より団子」もあり、舌でも春を味わおうと、桜にちなんだ和菓子とお茶を、桜の下で楽しみました。

いつもは室内で過ごすことが多いデイケアですが、時にはこのように青空の下、みんなで楽しめる活動もしていこうと感じました。ワクワクする春の午後のひとときでした。

看護師 向井ゆきみ



2024年度 外来満足度調査 (2024. 11. 25~12. 13実施) 回収率88%

【回答者内訳】

記載者: 患者様9%、ご家族53%、施設からの付き添いの職員14%、その他・未記入24%

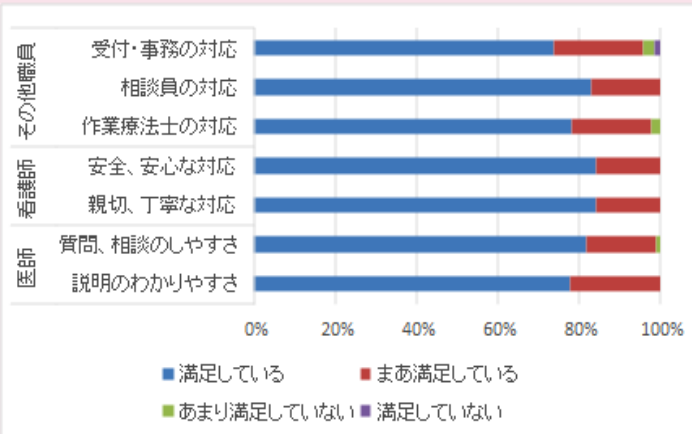
当院で利用しているサービス: 外来通院のみ69%、通院とデイケア12%、通院と訪問7%、未記入、その他8%

今年度も外来通院患者様を対象に満足度調査を実施しました。お忙しい中、皆さん貴重なご意見や回答をお寄せいただきありがとうございました。

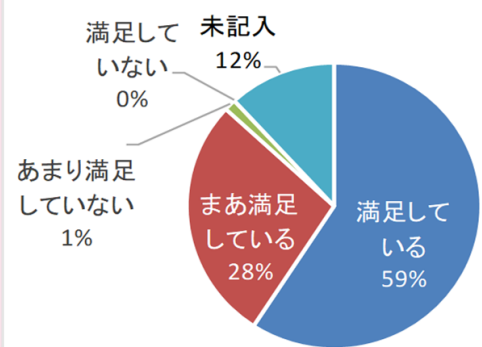
今後の外来医療活動に活かし、皆さんが利用しやすい病院となるよう職員一同、取り組んでいきます。



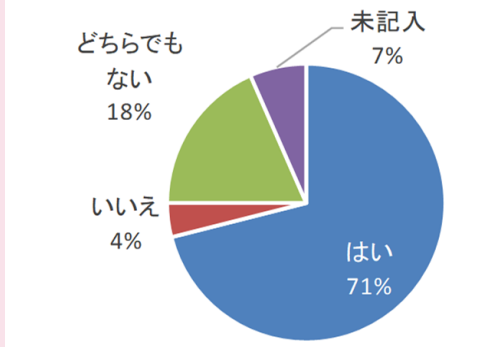
Q: 外来の職員の接遇(対応)はいかがですか?



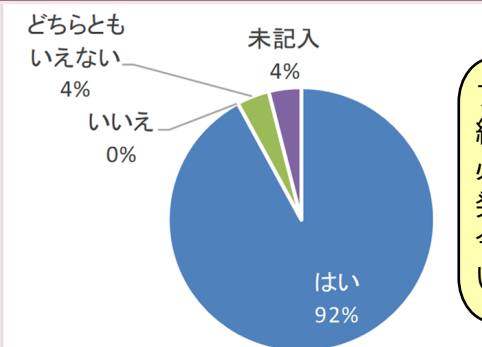
Q: 利用されている外来のサービス(通院、デイケア、訪問、作業療法)に満足されていますか?



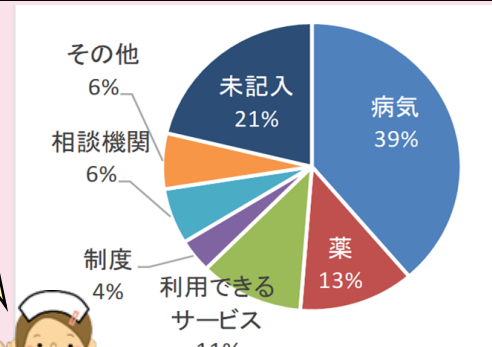
Q: 当院にかかる前に抱えていた困り事や不安が軽減、解決はしましたか?



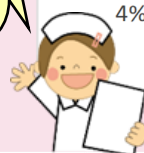
Q: 認知症で困っている知人がいたら当院を紹介したいと思いますか?



Q: あなたが今、必要としている情報は何かですか?



アンケート結果を参考に必要な情報の発信なども今後検討していきます。



その他頂いた診察に対するご意見より

「今後の見通し、薬のメリットやデメリットが理解できた」「聞いていただいて心が軽くなった」「相談員さんや先生が相談にのってくれる」等診察に関する感想、ご意見をいただきました。また、『今必要としている情報』については、「親の行先について」「本人への対応や見守り方法」など具体的なコメントもいただきました。当院外来では、看護師や相談員がこのような情報の提供もいたしますので、遠慮なく外来職員にお声掛けください。

2024年度 看護部事例発表会

看護部恒例の事例発表会を3月4日に開催しました。

各病棟から3演題と卒後1年目看護師2名による、合計5演題の発表を行いました。発表内容は、2024年度の看護部の方針として上げた「尊厳を重視した認知症ケア」「看取り」についての取り組みや、新卒看護師2名の事例発表でした。自分達が行ってきた看護やケアを言語化し考察し振り返る、とてもよい機会となりました。

人生の最期を迎える患者とその家族の思いに寄り添い、他職種で関わることができた事例の一部を紹介します。

総師長 國分 祐子

★ 演題 ★

1. 患者と向き合い変わってきた意識
～当たり前になってしまっていた行為～
2階病棟
2. 「自宅退院を見据えた介護体験を
通しての学び」
3階病棟
3. “高齢”という背景と向き合った
「百寿」の祝いと「看取り」から
4階病棟
4. 精神状態安定に向けた介入
～BPSD症状が見られる対象患者への
アクティビティ・ケアの効果～
3階病棟
5. イメージマップで見えたもの
4階病棟

～看護部事例発表会 演題より～

※抜粋での紹介となります

“高齢”という背景と向き合った「百寿」の祝いと「看取り」から

4階病棟 看護師 五島 詩織

1. はじめに

人生100年時代と言われる中で、これまで100年を生きてきた方とどれくらい出会ってきただろうか。今回「百寿」の祝いをしたA氏の事例を紹介する。

2. 「百寿を祝う」ということ

「100歳まで生きるということがどういうことなのか」本人を含め、時代背景も考慮し計画することの難しさや、職員間での意見のすり合わせの難しさを知った。また、家族にしかわからない気持ちをひとつひとつ丁寧にほどこいていき、限りある時間の中で再構築することの難しさも痛感した。

3. 「天寿を全うする」ということ

看取りのプロセスの中で家族も「これでいいのか」と思ったり、気持ちが揺れ動いたり、いつまで続くのかと先の見えない介護で辛い思いをしているに違いない。ましてや過去に家族が本人に対し陰性感情がある場合、整理されず積もったままの思いは本人にとっても家族にとっても、よい余韻を残すことはできないだろう。家族には私たちの知らない歴史や体験がある。

今回は単に「百寿」の祝いの計画だけではなく、家族によい余韻を残そうともつれた糸を紡ぎ直すように関わってきた。家族の思いを否定せず、家族の考えを尊重しながら本人と家族にとって、納得のいくようなプロセスを積んできた結果が確かにあったと考える。

4. おわりに

「また来年！」とA氏は病棟で行った秋祭りのときに太鼓を叩き、未来に向け言葉を発した。当たり前のように101歳を迎えることを考えていたのかもしれない。

看取りケアを行うようになり、当然のことながら患者を看取ることも増えてきた。「高齢」という背景を考える機会はこれからもある。このような場を提供してくれたA氏への感謝とともに、これからも日々のケアを大切に続けていきたい。





顔が見える医療を ㊦

令和7年1月に入職いたしました岡田ひとみと申します。
外来看護業務・訪問看護を担当させていただきます。

長野県出身で東京・山口で暮らした後、7年前に岡山に参りました。岡山は気候が良く自然も豊かで、海へ山へと趣味の釣りを楽しんでいます。ひだまりの里病院では認知症医療とケアの知識を深め、患者さん、ご家族さんに寄り添った看護をしていきたいと思っております。一生懸命努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



外来
岡田 ひとみ



事務部
佐藤 静香

3月から事務部に配属になりました佐藤静香と申します。以前は同じ法人である林病院の医事課で約6年間勤務していました。岡山ひだまりの里病院でも医事業務を担当する予定です。

まだまだ不慣れなこともあり日々勉強の毎日ですが、事務職員として他の職種の方々が円滑に仕事を進められるように尽力するとともに、患者さん、ご家族さんに安心して医療を受けていただける環境づくりに貢献していきたいと思っています。

至らないこともあるかと思いますが、1日でもはやく病院運営の一助となるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

お知らせ

当院では現在、郡（こおり）と飽浦の2か所で定期的に認知症カフェを行っています。

『こおり銀座』

- ・毎月第4月曜日14～16時
- ・今後の予定 5月26日、6月23日、7月28日
- ・お問い合わせ先：
086-267-2011（担当：加嶋）
086-272-2957（担当：頭師）



『ひだまりの家(カフェ)』

- ・毎月第4木曜日15～17時
- ・今後の予定 5月22日、6月26日、7月24日
- ・お問い合わせ先：
086-267-9377（グループホーム ひだまりの家）

どちらも予約は不要ですが、場所がわかりづらいかもしれません。場所や内容など、お気軽にお問い合わせください。

ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

電話 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <https://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/>

《外来》

診療日時：月曜～金曜
9：00～12：30

*予約制です。まずは
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

実施時間：月曜～土曜
9：30～15：30

（日曜・年末年始はお休み）

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。
医療費でお困りの方はご相談ください。
入院中の差額ベッド料はいただいております。